

「スナッグゴルフ研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

1 活動内容

専用のクラブ（ランチャー、ローラー）、ボールを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、スナッグフラッグにボールがくつつくまでの打数を競う。
ルールも簡単のため、手軽に楽しむことができる。

2 活動のねらい

- グループで活動し、協調性を養う。
- スナッグゴルフを通して汗を流し、仲間との交流を深める。

3 研修対象者

小学生以上とする。ただし、保護者又は責任の持てる引率者と組んで活動する場合はこの限りではない。

4 研修人数

最大36人

（1グループ 最大4人 9ホール）

*但し1つのボールを2人で交互に打つなど工夫すれば、人数を増やすことも可。

5 実施時期、研修時間、実施場所

(1) 実施時期 通年

(2) 研修時間

午前 9:00～11:30

午後13:30～16:00

(3) 実施場所

グラウンド（原則9ホールだが、9ホール以下でも可）

6 準備物

(1) 個人：運動に適した服装、運動靴、帽子、タオル、飲み物

(2) 引率者：筆記用具、携帯電話

(3) 交流の家（事務室）：バインダー（グループ数）、スコアカード（グループ数）、コース図、
携帯用救急バッグ（1個）、救急法の基礎知識（1冊）

(4) 交流の家（体育館倉庫）：ランチャー（人数分）、ローラー（人数分）、ボール（人数分）、スナッグフラッグ（設置ホール数分）、コースロープ（設置ホール数分）ランチパッド（人数分）

設置ホール数 9ホール（グラウンド）*ただし9ホール以下でも可



スナッグゴルフ道具一式



ランチパッド



スナッグフラッグ



ランチャー



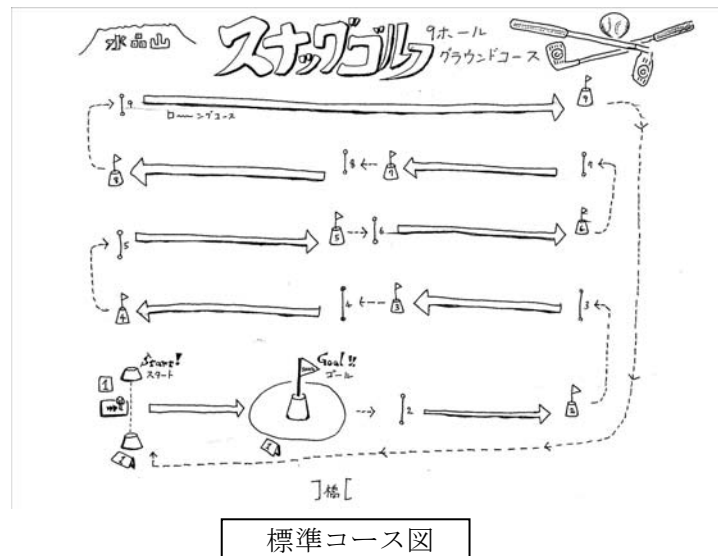
ローラー



ランチャーでショットをしている様子



ローラーでスナッグフラッグにパッティング
をしている様子



7 指導・安全管理

- (1) 研修時は、「スナッグゴルフ研修」プログラムをもとに、団体がスナッグゴルフの指導・安全管理を行う。
- (2) 団体は、次の指導者を配置する。
 - ① 統括責任者（全体の総括，指導）・・・・・・・・・・ 1名
 - ② 指導担当者（用具の準備，後始末の指示）・・・・・・・・ 1名以上
 - ③ 安全確認担当者（安全確認，ボール紛失時の探し）・・・・ 1名以上
 - ④ 救護担当者（健康観察，応急処置）・・・・・・・・・・ 1名以上
- (3) 事故発生時の処置
 - ① 総括責任者は事故の状況を把握し，交流の家に携帯電話で連絡を行う。

8 展開

- (1) 「スナッグゴルフ研修実施届」（以下「実施届」）の提出
実施届に必要事項を記入し，総括責任者が研修開始までに提出をする。
- (2) 事前打ち合わせ
職員と総括責任者の打ち合わせ（「スナッグゴルフ研修プログラム」を資料とする）をする。
 - ① 研修生の健康状態に十分配慮し，体調不良者にはスナッグゴルフをさせないことを説明する。
団体から提出された実施届等の変更の有無を聴取し，変更がある場合は修正する。
1部コピーし，総括責任者を通じて指導担当者に渡す。（原本は交流の家事務室用）
 - ② 「スナッグゴルフ研修」プログラムを基に研修の実施方法，安全管理等を説明する。
 - ③ 緊急時の連絡方法として総括責任者の携帯電話を聴取する。

(3) 事前準備

- ① 指導担当者は、交流の家（事務室）でバインダー（グループ数）、スコアカード（グループ数分）、標準コース図を受け取り、体育館倉庫に行き、職員立会いのもと、ランチャー、ローラー、ボール、スナッグフラッグ、ランチパッド、コースロープを出す。
- ② 救護担当者は、交流の家（事務室）で携帯用救急バック（1個）、救急法の基礎知識（1冊）を受け取る。
- ③ 指導担当者は、研修生と一緒に標準コース図を参考にコースの設置を行う。

(4) 事前指導

- ① スナッグゴルフ解説DVDを参加者全員で視聴し、方法を理解する。
- ② 指導担当者は研修生をグラウンドに集合させる。
- ③ 救護担当者は健康観察を行う。
- ④ 総括責任者は目的、競技方法、注意事項を説明する。

【競技方法】

- ア. 指導担当者はスコアカードをグループの班長に渡すように指示をする。
- イ. スコアカードの記入の仕方を説明する。（グループの最大人数は4人とする。）
- ウ. グループでスタート順を決める。
- エ. 決められた順番にショットをする。
- オ. 第2打からは、ホールに遠いものから順次ショットをする。
- カ. ホールイン後、打数をスコアカードに記入する。
- キ. 次のホールへ移動し、前のホールで打数の少ない順にショットする。
- ク. 全コース終了したら、指定された場所に集合し、スコアを集計する。

【注意事項】

- ア. ランチャーやローラーを振る時は、周りに人のいないことを確認してから振ること。むやみに振り回さないこと。（安全に活動できるように、コースを回る際は、原則、ランチャー、ローラーは1本ずつの使用とし、グループで共有して使用する。）
- イ. ボールを紛失しないこと。
- ウ. 前のグループがホール内にいる時は、ショットをしないこと。

- ⑤ 安全確認担当者は、コースで研修生の様子を観察する。

(5) 研修の実際（展開）

- ① 指導担当者は準備運動をさせる。
- ② 安全に留意しながら、ランチャーとローラーの練習を行う。
- ③ 指導担当者は順次スタートさせる。
- ④ ボールが紛失した場合は以下のようにする。
 - ア. 茂みや林に入った場合、グループで探す。ただし、深い草むらの場合は入らない。
 - イ. 見つからない場合は、安全確認担当者に「ボールの色」と「見失った場所」を連絡し、新しいボールを受け取って続ける。
 - ウ. 連絡を受けた安全確認担当者はボールを探す。
- ⑤ 指導担当者は適宜休憩をとらせ、水分補給をさせる。

(6) 研修実施後

- ① 指導担当者はスコアカードを回収する。
- ② 指導担当者は救護担当者に指示して健康観察をさせる。
- ③ 指導担当者はスコアカードの集計をし、順位を決定する。
- ④ 指導担当者はまとめ（成績発表・講評）をする。
- ⑤ 指導担当者は研修生とともに体育館倉庫に行き、ランチャー、ローラー、ボール、スナッグフラッグ、ランチパッド、コースロープを返却（整理整頓）する。
- ⑥ 指導担当者及び救護担当者は借用物品を交流の家（事務室）に返却するとともに、終了報告をする。

(7) その他

- ① ボールを紛失した場合や道具等の破損の場合は実費負担の弁償となる。（交流の家（事務室）に報告する）

9 連絡先

江田島青少年交流の家

一般電話番号

TEL 0823-42-0660

TEL 0823-42-0661

平成 年 月 日

スナッグゴルフ研修実施届

国立江田島青少年交流の家所長 様

研修団体名

総括責任者名

㊞

連絡先（携帯電話）

スナッグゴルフ研修を下記のとおり実施します。なお、指導及び安全管理等は当団体が行い、研修中の事故、けが等については、当団体の責任において対処します。

記

1. 期 日 平成 年 月 日 曜日 時 分～ 時 分

2. 指導体制等

(1) 指導者の役割

指導担当者名 (1名以上)	
安全確認担当者名 (2名以上)	
救護担当者名 (1名以上)	

(2) 研修参加者数

スナッグゴルフをする人数	スナッグゴルフをしない人数	合 計
人	人	人

(3) 貸出物品等 *交流の家職員との打ち合わせ時に記入

救急バッグセット 1, バインダー (), スコアカード ()

3. その他

- (1) 打ち合わせ資料「『スナッグゴルフ研修』プログラム」を遵守し、実施します。
- (2) 参加者の健康状態を十分に調査し、適当と判断した者のみ研修をさせます。
- (3) 持参した物品等は、責任をもって持ち帰ります。